

タイトル

【PTA 広報より】150 周年記念行事をご紹介します

登戸小学校は 2023 年に創立 150 周年を迎えました。たくさんの周年行事があり、児童一丸となって取り組みました。保護者が参加できない行事は、PTA 広報が取材し、広報紙に掲載して様子をお伝えしました。

登戸小の子どもたちにとって、この記念すべき年に登戸小学校の代表としてさまざまな経験ができたことは忘れられない大切な思い出となると思います。記事ではこの周年行事の様様をまとめてご紹介します。

2023年(令和5年)6月1日(木)

150周年お祝いの会・航空写真撮影

6月5日の創立記念日にさきがけて、6月1日(木)に登戸小学校の盛大な誕生日会が開催されました。

体育館に全校児童761人が集まり、150周年お祝いの会のはじまりです。5・6年の運営委員会が企画した出しものは、明日の修学旅行を楽しみにする6年生が150周年マスコットキャラクター“のぼっぴー”と一緒に探るという楽しいストーリー。はじめて知る登戸小の昔のようすに、低学年の児童から「え〜！」「うそ〜！」と声が上がります。

つづいてお祝いの校歌斉唱です。体育館で全校生徒が一斉に校歌を歌うのは、とても久しぶりとのこと。児童761名による歌声は、体育館を突き破るような大迫力でした。校歌の終わりに、登戸小学校のお誕生日を大きな声でお祝いしました。

1・2年生「のぼりとしょうがっこう」

3・4年生「150さいの」

5・6年生「おたんじょうび」

全員「おめでとう」!!!

自然と拍手が起こりました！

創立150周年のスローガンは

“歴史をつむぎ 未来へ進歩 バトンをつなごう 登戸の子”



この日、運営委員長から、150周年のスローガンと横断幕の紹介がありました。

また、150周年の記念マスコット“のぼっぴー”をデザインした6年生にインタビューがありました。多摩川の梨と幸せを呼ぶ青い鳥をモチーフに、「150周年の後も未永く幸せが続くように」という願いを込めてデザインをされたとのことです。

環境委員会から150周年を盛り上げる取り組みの発表もありました。5・6年生は校章にちなんで稲を育て、1年生

から4年生もそれぞれお花を育てることになりました。

その後、ひとりひとりに緑・赤・黄色・青のシートが配られました。シートをかぶっていざ校庭へ。航空写真の撮影がはじまります。校庭の白いラインに沿って並んでいくと、だんだん登戸小学校の校章の形に見えてきました。初夏の暑さきびしいなか、全校児童一丸となって頑張りました。さあ、いよいよ記念すべき年のスタートです！



150 歳のお祝いプレゼント

その1 記念品



全校児童に“のぼっぴー”がデザインされた登戸小学校オリジナルトートバックが配られました。中には、写真やコメントたっぷりの150周年記念誌をはじめ、地域の方々の協力で先生方が作られた地域読本「のぼりと」、航空写真と校歌がほどこされたクリアファイルなど、今年ならではの思い出になるものをたくさんいただきました。“のぼっぴー”の金太郎飴と校章クッキーなど、お菓子のプレゼントもうれしかったです！

その2 お祝い給食



いつも美味しい登戸小の給食ですが、お祝いにぴったりの赤飯と鯛めしなど、さらに豪華で嬉しいお祝いの自校献立を実施いただきました。のぼっぴーをプリントした「のりっぴー焼きのり」や「のぼっぴーメンチカツ」は、6年生の

アイデアが形になりました。

その3 複合遊具



創立110周年記念で建設され40年もの間、登戸小の片隅で子どもたちを見守ってくれた遊具「スベレスト」が150周年を記念して新しい遊具に生まれ変わりました。そこで、「スベレスト」との思い出の展示やお別れの会を運営委員会が企画しました。新しい遊具は、カラフルで楽しい複合遊具「ワイワイ手つなぎコンビ」。この遊具でもたくさんの思い出ができますように！

2023年(令和5年)11月18日(土)

登戸小学校創立150周年記念式典

11月にはメインイベントとなる「創立150周年記念式典・祝賀会」が開催されました。それに先駆けて、11月9日(水)には保護者鑑賞会が実施されました。予行練習かと思いきや、完成度の高い演奏や発表に感動した保護者の方も多いのではないのでしょうか。

1年「みてみて！わたしたちの のぼりとしょうがっこう」、くじら雲に登戸小を案内する夢いっぱいの内容でした。
2年「のぼりと、だいすき！」町探検をして私たちの暮らす登戸の素敵なところを紹介してくれました。
3年「見守ってくれてありがとう」は地域の方の活動を紹介し、感謝の気持ちを歌で表現しました。
4年「心を一つに」は今夢中になっていることを紹介、「小さな勇気」の大切さを合唱で伝えました。
5年「150周年 みんなでつなごう ハーモニー」式典のスタートを飾る華やかで楽しい演奏でした。
6年「あゆみ」ひとりひとりの言葉のかけあいで登戸小の歴史を振り返る、立派な発表でした。
登戸小スクールバンドは総勢60名で「共に…」～彼こそが海賊～シンクロ Bon-Ba-Ye を披露しました。6年生の手拍子とのコラボでは、会場が一体となり盛り上がりました。



11月18日(土)に開催された記念式典では、体育館に160名ものお客様が集まりました。これまで登戸小学校でご活躍された校長先生や先生方、PTA 会長や役員の皆さん、そして町会長をはじめとする地域の皆様が参列され、川崎市長・川崎市議会議長からもお祝いのあいさつをいただきました。各学年による全力の発表に、笑いあり、拍手あり、感動あり、大変楽しんでいただきました。150周年を迎えた登戸小学校の魅力を子どもたちから十分伝えられた機会となりました。

今年、登戸小の子どもたちは、たしかに 150 年の歴史をつむぎ、未来へバトンをつなぐことができたと思います。その様子を保護者として間近で見せていただき、成長を感じる機会となりました。ありがとうございました。
登戸小学校 150 歳、本当におめでとうございます！